



中小企業の明日を支える人材が集まる

中小企業支援士協会報

発行：中小企業支援士協会2026年6月8日（月2回発行通番第112号）

中小企業政策が変更される方向性です

皆さんこんにちは、中小企業支援士協会代表 落藤伸夫です。中小企業を支える皆さんにメッセージをお送りします。

先日、ある業界専門誌の記事に「おや」と思ってネット情報を確認すると、大変興味深い発表を見付けました。中小企業政策の見直し案です。

【労働供給制約社会における中堅・中小企業の「稼ぐ力」強化戦略について】

<https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/shingikai/soukai/045/045.html>

冒頭の業界専門誌記事で挙げられたのは「今年度から売上10億円を目指す企業(と、成長志向の小規模事業者)創出メカニズムの構築着手」で、それが確認できましたが、もしそれだけなら「政策見直し」とまで表現することはないだろうと考えて資料を見直したところ、答えは冒頭にありました。

・労働供給制約社会では、人も中小企業も数よりも質であり、経済の供給力強化のため、「強い中小企業」を作る必要がある。

・現状維持ではなく、事業再構築・生産性向上・事業再編等に取り組む中堅・中小企業を徹底的に支援し、必要な連携と再編を促す(以下略)。

・(略)「稼ぐ力」を高めるためには「一人当たりの付加価値額(付加価値労働生産性)」の向上が必要(中略)。政策を総動員し、中小企業の付加価値労働生産性の成長率目標を「5年で15%向上」(以下略)。

・(略)賃上げは単なる分配政策ではなく、人材を惹き付け、生産性向上投資を促し、企業の行動変容を促進する「供給力強化政策」(以下略)

冒頭の「中小企業も数よりも質」は政策目的の根本的変更で、金融政策(日本公庫の貸出姿勢・保証協会の審査姿勢)や補助金内容など広範囲に影響が及ぶでしょう。支援者として今後の動向に目が離せません。

協会活動報告

【未梱コラム】常識はあるが良識はないAIを使いこなす(2026/5/11)

<https://www.innovations-i.com/column/ctf/91.html>

【未梱コラム】生成AI得意分野でも人間力を発揮する(2026/5/18)

<https://www.innovations-i.com/column/ctf/92.html>

【中小企業支援士協会メルマガ】<https://www.reservestock.jp/subscribe/357560> (NEW!)

支援雑感

小零細企業に「成長の道筋」が必要か

中小企業政策は、実は令和6年9月にも変更(確定)、公表されています。

【今後の中小企業経営への提言及び中小企業政策の方向性】

<https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/shingikai/soukai/240609.pdf>

今回見直し(案)は、上政策とは違う方向性なのか? そうではないでしょう。上政策も日本経済の担い手として中小企業の活躍を期待する内容で、そのペルソナ像として「100億宣言企業」を規定、重点的に支援する方向性でした。

今回見直しで、ペルソナ像として「10億宣言企業」が追加されました。「100億の前に10億を置き、細かく刻むことにしたのね。」趣旨はその通りでしょう。しかしその意味は、100億企業の場合と比べ物にならないと感じています。50億企業が100億を目指す道筋はイメージが付きませんが、5億企業が10億を目指す道筋イメージは未だ明確化されていません。まずそこから始めなければ絵に描いた餅に終わる可能性がある、それは避けなければ、と切に思います。

読書感想

「国の競争優位(上)」

(M.E.ポーター) <https://amzn.to/4uW0CsE>

この本は、小零細企業の「成長の道筋」を考えたいと思い、手に取りました。タイトルで示されるターゲットは「国」ですが、上巻「国の優位の決定要因(図3-1)」が、成長の道筋を考える上で参考になる枠組みだと感じたのです。

その図では「企業の戦略、構造およびライバル間競争」と「要素要件」、「需要要件」そして「関連・支援産業」の4つが国の優位性を決めと示しています。国としてはこの4要素について一部は前提として受け入れる一方で、働きかけられる要素についての確に働きかけることにより競争優位性を高めていくことになる、このような示唆になると考えられます。

一方で企業は需要条件と関連・支援産業、ライバルの出方等を前提とし、「入手できる資源をベースに、持続・成長できる自社要素を形成していく」と「自社を持続・発展できる戦略と構造を形成していく」ことになると考えました。打ち手をとって何を考え、そのために何を考慮に入れなければならないか、頭を整理できるシンプルな軸が得られたと嬉しく思っています。

発行者：中小企業支援士協会

Small and medium Business Supporters Association

参加団体：事業性評価支援士協会

(中小企業支援士事務所StrateCutions内)

連絡先：info@besa-sc.com (担当者) 落藤伸夫